がん検診における感染症予防対策手順書（案）

１　目 的 　受診者及び従事者が感染予防を行うことで、参加者を感染症等から守ることができる。

２　方　　法　　従事者は「感染対策チェックリスト」を感染対策として使用する。

３　対 象 者　　受診申込者　〇〇名

４　所要時間　　〇〇時～○○時まで（○○分）

５　使用会場　　〇〇センター　○○室（広さ　㎡）

６　必要物品　　蓋つきのかごに準備する（検診の備品以外）

□擦式アルコール剤（使用期限を確認）

□消毒用アルコール綿（使用期限を確認）

□マイペット等消毒剤　　□キッチンペーパー

□非接触型電子体温計　　□脇専用体温計

□マスク　　　　□フェースシールド(アイシールド)

□ゴミ袋　　　　□ゴム手袋(劣化していないか確認)

７　感染対策チェックリスト

　＜受診者＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 実施 | ☑ | 対応 |
| 事前連絡 | 体調及び留意点の伝達 | ・受診者の体調や受診にあたっての留意点を伝える①新型コロナウイルス感染者・濃厚接触者との接触の有無②県外等感染流行地域への外出の有無③渡航歴の有無④本人の体調の確認　風邪症状（倦怠感、咽頭痛、咳、鼻水等）、4～5日続く下痢症状、発熱（37.5℃）の有無※2週間以内に上記4項目のいずれかに該当する場合、当日朝の検温にて発熱（37.5度以上）や体調不良がある場合は、延期または受診を中止してもらう。⑤当日は、不織布マスク着用の上での受診を依頼する。 | □ |  |
| 受付 | 健康状態の確認体温測定留意点の確認 | ・現在の健康状態をチェックする。※チェック事項：事前確認④参照・体温を非接触型電子体温計で測定する。※37.5度以上の発熱がある場合は受診を遠慮してもらい、延期または受診を中止してもらう。・留意点をチェックする。　※チェック事項：事前連絡①～③、⑤参照 | □□□ |  |
| マスクの着用 | ・受診者が不織布マスクを正しく装着しているか確認し、未装着の場合は、マスクを渡し装着を依頼する。 | □ |  |
| 手指消毒 | ・入室前に擦式アルコール剤で手指消毒を行ってもらう。※明らかな汚れがある場合は、手洗いをしてから手指消毒を行ってもらう。※正しい手指消毒の仕方を確認・指導する。 | □ |  |
| 検診中 | 飛沫の防止 | ・検診が混雑しないよう受診間隔を制限する・検診バス、検診会場など狭い空間は入室の人数制限をする。 | □□ |  |

＜従事者用＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 健康 |  | ・出勤前に健康状態の確認　チェック事項：事前連絡④参照 | □ |  |
| 身だしなみ |  | ・爪は短いか、マニキュアは塗ってないか。手荒れはないか。・指輪、ネックレス、ピアスは外す。・髪が肩にかかっていないか。（肩に係る場合は束ねる。） | □□□ |  |
| 会場準備受付 | 会場の清掃 | ・ドアノブ、テーブル、電気のスイッチをマイペット等で拭く。 | □ |  |
| 部屋の換気 | ・風が通るように、検診バスや検診会場の窓や扉を開ける。（安全面を考慮し、1時間ごとに換気する。） | □ |  |
| 会場設営 | ・検査待ちが混雑しないよう待合椅子の間隔をあける。 | □ |  |
| 受付 | マスクの確認 | ・不織布マスクを装着する。 | □ |  |
| 検診中 | 飛沫の防止 | ・検診の際はアイシールドまたはフェースシールドを着用する。・受診者との会話（問診、保健指導等）は対面にならないよう横並びで行う。 | □□ |  |
| 手指消毒 | ・受診者ごとに手指消毒を行う。 | □ |  |
| 環境整備 | ・受診者が接触した場所を消毒用アルコール綿で消毒する。・風が通るようにし、検診バスや検診会場の窓や扉を開ける。（安全面を考慮し、1時間ごとに換気する。） | □□ |  |
| 終了後 | 会場、使用した備品の清掃 | ・ドアノブ、テーブル、電気スイッチなど使用した備品等をマイペット等で消毒する。 | □ |  |
| 帰所後 | 使用物品の清掃 | ・ゴミ袋を廃棄する。・マスクや鼻かみ等は個包装の袋に入れて袋を縛っ　　た後破棄する。 | □ |  |